

ともに生きる福祉社会を目指して

日本では毎年、国際障害者デーの12月3日から、国際連合で「障害者の権利宣言」が採択された12月9日までの1週間を、「障害者週間」と定めています。障がい者福祉への関心や理解を深め、誰もが社会・経済・文化その他あらゆる分野の活動に参加することができる社会を目指すことを目的にしています。

誰もが自分らしく生きる福祉社会を目指して

「障がいのある人」と聞いて、あなたが思い浮かべることは、どのようなことでしょうか。

障がいは多種多様で、外見では分からないものもあります。障がいによる不自由さはあっても、周囲の理解や配慮があればできることもたくさんあります。障がいのある人の意見を聞いて、学校や職

場の中でできる配慮や工夫を一緒に考えてみましょう。

誰もが暮らしやすい福祉社会の実現は、そうした一歩から始まります。

障害者週間をきっかけに、障がいのある人について知り、身近なこととして考えてみましょう。



障がい者をチームで支える海老名市自立支援協議会

海老名市自立支援協議会は平成19年にスタートし、精神・身体・知的・児童・就労の5部会構成で、それぞれの地域課題に取り組んで

ずっと海老名で暮らしたいプロジェクト

平成23年には、新たな展開を目指し、「ずっと海老名で暮らしたいプロジェクト」をテーマに、障がい別から課題別に各障がいをまたいで、5つのチームを作りました。各障がい間の「相互理解」から、共通して必要な「地域」を考える取り組みを始めています。「元気に楽しく」がコンセプトです。

楽しく活動する部会(チーム)構成

◆**チーム 育つ・学ぶ**(旧児童部会) 障がいのある子どもたちが、生まれ育ち、大人になるまでの主に児童期の課題を中心に地域を考えます。

◆**チーム 暮らす** 障がいのある人たちが、生活していく上でのさまざまな課題(暮らし方・住まい・支援・サービス・家族や地域との関わりなど)について考えます。

◆**チーム 活動する・あそぶ** 障がいのある人たちが、昼間どのような活動をするか、どんな余暇を過ごすか、社会人として地域で充実した活動をし、心豊かに過ごすためには何が必要か、社会との関わりに視点を当てながら考えます。

◆**チーム まもる・つながる** 誰もが自分らしく誇りをもって、安心して暮らせる地域をつくるため、障がい者の権利擁護の視点で地域を考えます。障がいのある人を取りまく地域

【ずっと海老名で暮らしたいプロジェクト】

- ◇住み慣れた海老名で **仲間づくり** 自分らしく楽しく活動したい。
- ◇必要な支援は **質の高い福祉サービス** を受けて安心して暮らしたい。
- ◇障がいがあってもなくても **温かい目で見守られ困った時は相談にのってくれる家族や隣人や仲間や行政や事業所がある** そんな**地域をつくりたい**。

います。各部会の主体的な活動により、立場の違う関係者が共通のテーマについて語り合い、同じ目的に向かって取り組む「協働」体験を積み上げ、障がい児者を取り巻く地域の連携体制の土台をつくりました。

【インタビュー】

海老名市自立支援協議会会長・安藤浩己氏(社会福祉法人星谷会理事長)に、同協議会についてお聞きしました。

Q…海老名市自立支援協議会の特長は？



▶安藤会長

のネットワークづくりや、広く市民や他分野への啓発など広報活動にも努めます。

◆**チーム 働く**(旧就労部会)

一般就労を目指す人や一般就労で働いている人たちの抱える課題や、障がいのある人が働きやすい地域を、関係機関と連携しながら考えます。



▲作業の様子

「チーム働く」から生まれた市の就労チャレンジ事業も3年目となりました。

【インタビュー】

今年度、市の就労チャレンジ事業に参加し、9月から民間施設で一般就労を始めた飯田崇さん(26歳・国分北在住)に、就労についてお聞きしました。

A…当事者や市民にも参加してもらえるような考えをもって取り組みを進めていることや、障がい児者の立場にたった積極的な意見交換などが行われていることです。また、当事者団体の皆さんが、誇りをもって参加している点もあげられます。

Q…今後の展望は？

A…障がいに関し、多くの声を拾って、障がいのある方も健常者とともに、地域で暮らしやすいと思ってもらえるよう、さまざまな場面でのつなぎ役として機能することが理想だと思っています。協議会のメンバーには、みんなで地域をつくり上げるんだというパワーがみなぎっています。会では地域として何ができるかなど、当事者の目線にたち、活発に活動しています。多くの方に、障がい児者と共生できる社会になるよう協力してもらえると良いですね。

Q…就労チャレンジ事業に参加した感想は？

A…緊張感もあり、声をかけることがなかなかできなかったりもしましたが、市役所でいろいろな仕事を体験できたことは、とても良い経験になったと思っています。

Q…実際に就労してみた感想は？

A…老人福祉施設で、クリーニング関係の業務を中心に行っていますが、初めは今までは全く違う環境なので、職場になじめるかどうか心配でした。今は、職場にも慣れ、責任感を自覚しながら仕事をできるようになりました。

Q…これからの希望は？

A…今の仕事をこれからもずっと続けていけるように頑張りたいです。



▶飯田さん